



2013年 7月 3日

公式規則公報 (第17号)

公式規則公報は、日本アメリカンフットボール協会制定の公式規則書・公式規則解説書等の記載内容の解説、例示、変更を行うものである。今後とも必要に応じて適宜発行される。

本文書は、「2013～2014 アメリカンフットボール公式規則・公式規則解説書」の内容の変更（3項目）、および解説（1項目）を公報するものです。本公報の内容は、即時に適用します。

記

1. 変更項目

(下線部が変更箇所)

No	規則・解説	篇-章-条	変更前	変更後
1	公式規則	9-1-6-a	右記下線部(4項)の記載がない。	<p>チーム確保変更前の A チームのプレーヤー スナッパーの両側 7 ヤード、ニュートラル・ゾーンの前 5 ヤードから A チームのエンドラインまでをロー・ブロッキング・ゾーンと定義する。(参照: 2-3-7 および付録 D)</p> <p>1. 次の条件のいずれかを満たす A チームのプレーヤーは、ボールがそのゾーンから出るまでの間、そのゾーン内で正当に腰より下のブロックをしてもよい。</p> <p>(a) スナップ時にスクリメージ・ライン上でそのゾーンに完全に入っているプレーヤー。</p> <p>(b) タックル・ボックスに一部でも入っていて、かつ、少なくともスナッパーから 2 人目のラインマンの体のフレームより内側に一部でも入っていて、スナップ時に静止しているバック。(A. R. 9-1-6-V)</p> <p>2. ボールがそのゾーンの中にある間で上記 1. で規定されていないプレーヤー、およびボールがそのゾーンから出た後のすべての攻撃側のプレーヤーは、最初の接触が「正面から」の腰より下のブロックをしてもよい。しかし、横からもしくは背後からの腰より下のブロックをしてはならない。「正面から」の定義は、ブロックされるプレーヤーの正面「時計の文字盤の 10 時から 2 時」の範囲である。(A. R. 9-1-6-I ~ II、IV、V II、および V III)</p> <p>3. 一度ボールがそのゾーンから出た後、攻撃側のすべてのプレーヤーは、自陣のエンドラインの方向に腰より下のブロックをしてはならない。(A. R. 9-1-6-III)</p> <p>4. 上記 1. で規定されていないプレーヤーは、スナップ時のボールの方向に対して腰より下のブロックをしてはならない。</p>

No	規則・解説	篇-章-条	変更前	変更後
2	公 式 規 則	A.R 9-1-6-IV	右記下線部が、「横からであったので」と記されている。	フォーメーションの左側に位置していたランカーA31 は、味方からボールを受けた後、右側へ深くりバースをした。エンド A82 は、フォーメーションの右側でスナッパーから 10 ヤード離れた位置にいた。A31 が縦に切れ上がった時、A82 は、守備側のエンド B62 を、左側のサイドラインの方向へブロックした。A82 のブロックは、腰より下のブロックであり、前方からではあったが、「10 時から 2 時」の範囲からは外れていた。ニュートラル・ゾーンの手前あるいは 1 ヤード越えた地点で行われた。判定： <u>横からであり、スナップ時のボールの方向であるので腰より下の不正なブロック。罰則-15 ヤード。反則がニュートラル・ゾーンの手前で起きた場合は、プレビアス・スポットから施行される。</u>
3	解 説	A.R 9-1-6-VII	右記下線部の記載がない。	バック A22 は、スナップ時にタックル・ボックスの内側で静止していた、またはモーションしていた。プレーが進み、彼は右方向のスweep・プレーのリードブロッカーとなり、ボールがロー・ブロッキング・ゾーンを出た後、ラインバッカーに対して腰より下のブロックを行った。判定： <u>最初の接触が正面「10時から2時」の範囲内で A チームのエンドラインの方向でなければ、正当なブロック。A22 がスナップ時にモーションをしていた場合、ブロックがスナップ時のボールの方向であれば、そのブロックは不正となる。</u>

## 2. 解説

本変更は、2013年6月25日にNCAAから公布された。長年にわたり、「クラックバック・ブロック」は、プレーヤーの安全に関わる不正なブロックであった。本年度の腰より下のブロックに関する変更の中で、意に反してクラックバック・ブロックが正当となる場合が生じたため、それを是正するものである。「クラックバック・ブロック」とは、フィールドの内側にいるディフェンスの腰より下に対して、外側にいるオフェンスが内側に進みながらブロックをすることである。

1.変更項目 No.1に記載のとおり、本規定は、チーム確保変更前のスクリメージダウン(キックのダウンを除く)において、腰より下のブロックに関して制限を受けるプレーヤー(9-1-6-a-1に当てはまらないプレーヤー)に適用される。

9-1-6-a-4に記載の「スナップ時のボールの方向」とは、スナップ時のボールの位置を通るサイドラインに平行な線に向かう方向であり、プレーヤーのスナップ時のポジションとは無関係に、ブロックするときの場所と進んでいる方向で決まる。

以上